

看護科学専攻前期

専門基礎科目(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA001	看護科学論	1	2.0	1	春BC	火1,2		竹熊カツマタ 麻子, 水野 道代, 柴山 大賀, 浦水 理恵, Togoobaatar Ganchimeg, 福澤 利江子	卓越した看護実践の基盤となる看護における諸理論や看護に関する諸理論と看護現象との関係について理解を深める。さらに看護に関する普遍的な法則性の追究、看護の経験的あるいは実証的な合理性の明確化などを通して看護を科学的に探求する。	必修 CNS共通科目A
01EA002	看護科学論	1	2.0	1	春B 春C	火1,2	共同B204	竹熊カツマタ 麻子, 水野 道代, 柴山 大賀, 浦水 理恵, Togoobaatar Ganchimeg, 福澤 利江子	卓越した看護実践の基盤となる看護における諸理論や看護に関する諸理論と看護現象との関係について理解を深める。さらに看護に関する普遍的な法則性の追究、看護の経験的あるいは実証的な合理性の明確化などを通して看護を科学的に探求する。	必修 CNS共通科目A 昼夜制学生に限る
01EA003	看護コミュニケーション論	1	2.0	1	春C	月1,2, 木3,4		岡山 久代, 金澤 悠喜, 日高 紀久江, 大宮 朋子, 川野 亜津子, 出口 奈緒子	看護職の基本的な資質である豊かな人間性を発展させ、看護の対象となる様々な生活背景をもつ人々の理解のためのコミュニケーションについて、看護の視点から理論と方法を教授する。ヘルスコミュニケーションやナンバーバルコミュニケーションの技法や実際の学び、その上で集団指導・個別指導および実際に起こりうる看護場面を想定したロールプレイを行う。アクティブラーニング手法を用いた教育により学生の学びを深める。	選択必修 OATMB12と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA004	看護コンサルテーション論	1	2.0	1	春AB	木3,4	共同B204	阿部 吉樹, 竹熊カツマタ 麻子	専門看護師に必要なコンサルテーションの概念、過程、タイプとモデル、技法、チーム医療におけるコンサルテーションの機能と役割、コンサルテーションの実際について学び、討議をととして理解を深める。	選択必修 OATMB13と同一。 CNS共通科目A
01EA005	看護学研究法	1	3.0	1	春AB	水2-4		竹熊カツマタ 麻子, 安梅 勅江, 阿部 吉樹, 萩野谷 浩美	看護研究における科学的な研究プロセスの理解と、その基本的な手法の帰納的・質的研究法、演繹的・量的研究法の研究法論を学際的に教授する。また研究倫理と、具体的な対象者の関わり方について、人間の尊厳を前提とした関わり方、およびそれに基づく研究者としての基本的な資質について論じ、看護を科学的に探求する研究法を教授する。	OATMB14と同一。 CNS共通科目A 助産師課程専攻学生必修
01EA019	保健統計学	1	2.0	1	春A 春BC	金5,6 金6	共同B204	山海 知子, 浅野 美礼, 阿部 吉樹	統計学の基礎的理解を深め、看護研究の中でも量的研究に求められる統計解析法の基本的内容を習得する。	助産師課程専攻学生必修
01EA020	保健統計学	1	2.0	1	春ABC	応談		山海 知子, 浅野 美礼, 阿部 吉樹	統計学の基礎的理解を深め、看護研究の中でも量的研究に求められる統計解析法の基本的内容を習得する。	助産師課程専攻学生必修 昼夜制学生に限る
01EA008	国際看護学	1	2.0	1	秋A	応談		安梅 勅江	国際的な視点からみた看護活動、人材育成、組織化、施策化を行うため、健康をめぐる世界動向と課題、国際機関及び国際協力の役割と展望を概観する。 異文化と多様性を科学的・論理的に分析・理解し、当事者主体の倫理に裏付けされたエンパワメント、ネットワーキング、システム構築等を活用した看護実践方法、国際協力実践方法、国際比較研究方法を学ぶ。	OATMB16と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA009	看護倫理学	1	2.0	1	春BC	金3,4		水野 道代, 山下 美智代, 大宮 朋子, 竹熊カツマタ 麻子, 牟田 理恵子, 日高 紀久江, 川野 亜津子	看護現場において倫理的な問題・葛藤について関係者間での倫理的調整を行うために必要な知識について、総合的知識のレクチャーと事例を用いた討論を通して教授する。	OATMB17と同一。 CNS共通科目A
01EA010	看護教育論	1	2.0	1	春BC	火3,4	共同B204	日高 紀久江, 萩野谷 浩美	看護ケアの質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育環境づくり等、看護の継続教育に関する知識と技術を教授する。	OATMB18と同一。 CNS共通科目A
01EA021	フィジカルアセスメント	1	2.0	1	春BC	月1,2		日高 紀久江, 小澤 典子, 菅谷 智一, 萩野谷 浩美, 山下 美智代	エビデンスに基づき、対象の臨床判断を行うために必要な知識と技術について教授し(e-ラーニング)、専門看護師として複雑な健康問題を持つ対象のフィジカルイグザミネーションとアセスメントに必要な看護の知識と技術については、シュミレーションを活用した発表やグループ間での討議等による演習をおして教授する。	e-ラーニング科目を含む科目 CNS共通科目B 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA022	病態生理学	1	2.0	1	春BC	木5,6	共同B204	水野 道代, 山下 美智代, 阿部 吉樹	エビデンスに基づき、対象の病態生理学的変化を解釈、判断するために必要な知識と技術について教授し(e-ラーニング)、専門看護師として対象の治療及び療養過程を総合的に支援する上で必要な知識と技術をグループ発表と討議を通して教授する。	e-ラーニング科目を含む科目 OATMB21と同一。 CNS共通科目B 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA023	臨床薬理学	1	2.0	1	春BC	金1,2	共同B107	柴山 大賀, 本間 真人, 阿部 吉樹, 菅谷 智一	エビデンスに基づき、薬物療法の身体への影響を臨床的な観点から解釈、判断するために必要な知識と技術について教授し(e-ラーニング)、専門看護師として対象の薬物治療と療養過程を総合的に支援する上で必要な知識と技術をグループ発表と討議をととして教授する。	e-ラーニング科目を含む科目 OATMB22と同一。 CNS共通科目B 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目

01EA029	看護教育学	4	2.0	1	春BC	火3,4	4B206	岡山 久代, 日高紀久江, 川野 亜津子, 萩野谷 浩美	看護専門職者として看護基礎教育にかかわる基盤となる力を養う。看護基礎教育に必要な学習理論、教授方法、教育評価に関する知識を教授する。	
01EA024	地域母子保健論	1	1.0	1	春A	火3 火4	4B206	金澤 悠喜, 岡山久代, 大宮 朋子, 出口 奈緒子, 福澤 利江子	地域母子保健の意義について理解し、変化する社会における地域母子保健の課題、政策、看護活動について学ぶ。また、地域母子保健における事例を通して、母子への支援や政策的課題を研究的視点から考察する能力を養う。	OATMB24と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA025	女性と健康	1	2.0	1	春AB	火5,6	4B206	岡山 久代, 佐藤 豊実, 川崎 彰子, 堀 愛	女性のライフステージにおける健康問題の特徴について、概論的に教授する。女性の健康問題の予防・改善のためのエビデンスに基づいたケアについてプレゼンテーションとディスカッションを通して学ぶ。講義での学びを基に大学生を対象とした健康教育を企画・実施する。	OATMB25と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA026	女性の精神保健学	1	1.0	1	春C	木1,2	4B206	岡山 久代, 大井 雄一, 金澤 悠喜	女性のライフサイクルに伴って変化する精神の健康と健康問題、および妊娠・出産・産褥を経験する女性の精神の健康と健康問題を理解し、アセスメントするための能力を養う。周産期のメンタルヘルスにおけるケアシステムの課題と政策を分析し、研究的視点から考察する力を養う。	OATMB26と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA027	生殖生命倫理学	1	2.0	1	春BC	金3,4		岡山 久代, 竹熊 カツマタ 麻子, 水野 道代, 川野 亜津子, 野口 恵美子, 山下 美智代	助産領域において生じる倫理的問題を理解するための知識について、総合的な講義と倫理的葛藤に関わる倫理的調整に必要な技能を養うために、事例を用いた討論を行う。	OATMB27と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA028	周産期のフィジカルアセスメント	1	1.0	1	春A	金3,4	4B206	川野 亜津子, 金澤 悠喜, 志賀 隆, 宮園 弥生	助産領域におけるエビデンスに基づいたフィジカルアセスメントの知識と技術を習得する。そのうえで、エビデンスに基づいた創造的看護実践についてディスカッションを通して学ぶ。	助産師課程専攻学生必修

専門科目(専門研究領域)(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA160	ウイメンズヘルス看護学特論	2	2.0	1	春AB	月5,6	共同B107	岡山 久代, 川野 亜津子, 金澤 悠喜	小児の成長発達や親子関係、家族への援助など、また、次世代を生み育てる準備期といえる思春期から成熟期・更年期にかけての女性の健康に焦点を当て、発達支援看護学の視点から看護の方法を体系的に把握する。海外の文献を中心に論文講義を行い、子ども・母性・家族の健康と看護に関する最新の研究動向を理解し、看護課題およびそれらを解決・評価する方法や理論を理解する。	
01EA161	ウイメンズヘルス看護学演習I	2	2.0	1	春C	月5,6 金1,2	4B206	岡山 久代, 川野 亜津子, 金澤 悠喜	思春期から更年期にある健康リスクの高い女性あるいは健康問題を抱えた女性について、科学的思考を実践に生かすために、より高度な看護活動の方策、研究課題や研究方法、看護実践の質を評価する意義と方法等について理解し、看護実践研究の基礎的能力を修得する。	OATMD12と同一。
01EA104	ウイメンズヘルス看護学演習II	2	2.0	1	秋AB	応談		川野 亜津子, 岡山 久代, 金澤 悠喜	思春期から更年期の発達課題にそった健康支援における最新の研究内容および水準を理解し、実践科学として意味のある研究計画を作成する能力を修得する。	OATMD13と同一。
01EA129	ウイメンズヘルス看護学演習III	2	3.0	1	秋ABC	月5,6	共同B107	川野 亜津子, 岡山 久代, 金澤 悠喜, 堀 愛	ウイメンズヘルス看護学・助産学領域における看護実践や文献等から研究テーマを見出し、課題に則した研究デザイン、研究計画を検討し、自らが取り組むべき研究課題を探求できる。	OATMD14と同一。
01EA130	ウイメンズヘルス看護学演習IV	2	3.0	2	春ABC	月3,4	共同B107	岡山 久代, 川野 亜津子, 金澤 悠喜	授業概要: 科学的根拠に基づいたケアを提供するために、周産期および女性の生涯を通じての助産実践について、Evidence-baseで思考し、研究していく過程について、ウイメンズヘルス看護学・助産学分野の研究を例に、講義、討議、および演習を通して学習する。	OATMD15と同一。
01EA132	助産学特論I	1	2.0	1	春AB	月3,4	4B206	岡山 久代, 川野 亜津子	ローリスク妊産婦および新生児・乳児に対して、高度専門職者としての質の高い助産実践と確かな診断をするための知識・技術および問題解決能力を習得する。助産師の倫理、助産診断とは、妊娠期・分娩期の助産診断、妊娠期・分娩期の医学診断と治療、乳房の診断と母乳育児、産褥期・新生児期の助産診断、胎児・新生児期の医学診断と治療について学習する。	OATMD16と同一。 助産師課程専攻学生必修 別表2: 助産診断・技術学
01EA133	助産学演習I	2	2.0	1	春BC	応談		金澤 悠喜, 川野 亜津子	ローリスク妊産婦および新生児に対して、高度な助産実践者として確かな技術と科学的根拠に基づいた助産ケアを提供するための基本的知識・技術を習得する。	※R2年度はCOVID-19により実施学期変更 OATMD17と同一。 助産師課程専攻学生必修 別表2: 助産診断・技術学

01EA134	助産学特論II	1	2.0	1	春BC	応談		川野 亜津子, 濱田 洋実, 金澤 悠喜	最新の周産期のエビデンスやガイドラインに基づく診断と治療、助産ケアを学ぶ。またローリスクのみではなくハイリスクの管理や、異常の診断と救急処置、異常分娩助産など緊急時の対応方法について学ぶ。さらに、ハイリスク事例を分析し、エビデンスに基づいた助産ケアを検討することにより、臨床における課題について解決するための研究・教育的基礎能力を養う。	OATMD18と同一。 助産師課程専攻学生必修 別表2：助産診断・技術学
01EA135	助産学演習II	2	2.0	1	春C	応談		川野 亜津子, 金澤 悠喜, 小澤 典子	身体的、心理・社会的にハイリスク状態にある周産期の母子とその家族の事例を通して、プライマリーケアを踏まえ、予防・早期発見、異常の診断、周産期救急への対応について、質の高いケアを学ぶ。さらに、ハイリスク事例に関する政策的課題を分析し対策すること、ハイリスク事例に関する臨床の課題を研究的に分析することを学ぶ。	OATMD19と同一。 助産師課程専攻学生必修 別表2：助産診断・技術学
01EA136	助産学特論III	1	1.0	2	春A	木1,2	4B206	岡山 久代	質の高い助産ケアを提供するための実践能力を育成する教育、助産ケアの質を保証するための組織における管理方法について学習する。また、母子保健サービスの領域における高度な専門職者に求められる管理能力について学習する。 助産師に求められるウイメンズヘルスケア能力、助産師の高度実践教育、助産業務ガイドライン、産科医療保障制度、助産師のキャリアプラン、助産実践能力の評価、助産所の開設と法的義務・規則、助産における人材育成と教育、大学病院でのトップマネジメント、パースセンターの立ち上げと管理、NICUの管理、産科病棟および産科外来管理の実践について学習する。	OATMD21と同一。 助産師課程専攻学生必修 別表2：助産管理
01EA137	助産学演習III	2	1.0	2	春B	金1,2	4B206	川野 亜津子, 岡山 久代, 金澤 悠喜	助産の質を評価し保障することについて助産管理の視点から研究的に学習する。エビデンスに基づく助産ガイドラインをクリティックすることにより、研究的視点で助産ケアを学習する。また、助産院の開設・運営に必要な事業計画を作成することにより、助産ケアの質を保証するための管理について学習する。	OATMD22と同一。 助産師課程専攻学生必修 別表2：助産管理
01EA138	助産学実習I	3	8.0	1	秋ABC	応談		金澤 悠喜, 岡山 久代, 川野 亜津子	ローリスクの妊産婦および新生児の助産ケアについて、科学的根拠に基づいた実践が可能となる能力を習得する。また、助産実践の過程を通じて、対象への問題解決能力と個別対応が可能な能力、さらには高度専門職者としての助産観を育む。	火・水・木・金に開講 OATMD23と同一。 助産師課程専攻学生必修
01EA139	助産学実習II	3	3.0	2	通年	応談		川野 亜津子, 岡山 久代, 金澤 悠喜	ハイリスク事例とその家族を対象に、科学的根拠をもって個別対応の助産過程を展開し、可能な範囲でケアの実践に関与する。また、受け持ったケースをレポートにまとめることでケアの質の改善に向けた研究課題、政策的課題、助産実践能力の養成について検討する。	OATMD24と同一。 助産師課程専攻学生必修 別表2：臨床実習 助産学実習
01EA150	発達支援看護学特論	1	2.0	1	春AB	木1,2		涌水 理恵, 小澤 典子	小児の成長発達や親子関係、家族への援助など、また、次世代を生き育てる準備期といえる思春期から成熟期・更年期にかけての女性の健康に焦点を当て、発達支援看護学の視点から科学的根拠に基づいた看護の方法を体系的に把握する。海外の文献を中心に論文講読を行い、子ども・女性・家族の健康と看護に関する最新の研究動向を理解し、看護課題およびそれらを解決・評価する方法や理論を理解する。	共同B103にて授業 CNS専攻分野共通科目
01EA159	発達支援看護学演習	2	2.0	1	秋AB	木1,2		涌水 理恵, 小澤 典子	地域の保育所などで集団生活を送る、あるいは長期入院を余儀なくされている、ターミナル期を迎える、といったあらゆる健康レベルの子どもと家族に、看護師として科学的根拠に基づいた発達支援ケアを実践するための知識・技術を習得する。障害や慢性疾患を有しながらも地域で生活する児と家族、長期入院を余儀なくされている児と家族、ターミナルを迎えた児と家族、また妊娠先行型結婚をした家族など様々なハイリスク状態にある児と家族の事例を通して、各事例に望ましいケアや対応について臨床上の課題さらには政策的課題をも含め、研究的に分析・討議し、習得する	共同B103にて授業
01EA131	養育期家族援助学	1	2.0	1	春AB	月5,6		涌水 理恵, 小澤 典子		共同B103にて授業 CNS専攻分野共通科目
01EA152	家族看護トランスレーショナル・リサーチ演習	2	2.0	1	秋AB	火5,6		涌水 理恵, 小澤 典子, 岡山 久代, 柴山 大賀, 竹熊 カツマ 麻子, Togoobaatar Ganchimeg, 福澤 利江子	家族看護援助方法に関する最新の研究動向を調査・整理し、家族への独創的な新しい看護援助法の検討や、臨床の場で有効性や安全性の検討等を行う能力を教授する。	OATME14と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA140	家族看護学特論	1	2.0	1	春AB	月3,4		涌水 理恵, 小澤 典子	講義および討議をおとして、小児を教育する家族を中心に、家族を取り巻く社会や地域、保健医療制度のなかで家族への支援調整ができる能力を教授する。	共同B103にて授業 OATME11と同一。 CNS専攻分野共通科目

01EA141	家族生活アセスメント学	1	2.0	1	春AB	水5,6	共同B205	涌水 理恵, 小澤 典子, 大宮 朋子, 日高 紀久江, 牟田 理恵子	家族看護の対象である家族を系統的に捉え、家族の健康および生活をアセスメントするために必要な理論および方法とその活用について知識および能力を教授する。	OATME15と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA142	家族アセスメント/インターベンション学	1	2.0	1	春C	水3-6		涌水 理恵, 小澤 典子, 阿部 吉樹, 伊藤 智子, 大宮 朋子, 川野 亜津子, 菅谷 智一, 山下 美智代	事例を通していくつかの特徴的な家族の「機能」「構造」「成長・発達区分」のアセスメントおよび、家族看護過程を展開する能力を教授する。	共同B103にて授業 OATME16と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA143	家族看護学演習	2	2.0	1	秋AB	木1,2	共同B204	涌水 理恵, 小澤 典子	家族の発達段階の特徴を踏まえたうえで、家族看護専門看護師による卓越した介入が必要な患者やその家族の健康や生活に関するアセスメント、家族への具体的な看護介入の方法、家族員の健康障害に関わる治療の過程を習得する。	CNS専攻分野共通科目
01EA144	家族看護実践学	1	2.0	1	秋AB	木3,4	共同B205	涌水 理恵, 小澤 典子	家族を対象とし看護介入について、理論を復習しつつ事例を検討する能力を教授する。また健康障害を有する家族員の治療の過程を踏まえたうえで、家族に援助計画(看護介入)を立案し、専門看護師の役割・機能に照らし合わせながら科学的に介入を評価する能力を教授する。	OATME17と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA145	家族看護学基盤実習	3	2.0	1	秋BC	応談		涌水 理恵, 小澤 典子	家族看護に関する専門的知識に基づき、家族をアセスメントする能力と家族支援の実践能力の基盤となる能力を家族看護過程の展開を通して教授する。	実習施設にて実施 OATME18と同一。 CNS実習科目
01EA146	家族看護学展開実習	3	4.0	1	秋ABC	応談		涌水 理恵, 小澤 典子	家族看護に関する専門的知識に基づき高度な実践能力、さらに援助成果について科学的に評価できる能力を教授する。また家族看護のケア開発能力および倫理的判断能力を教授する。	実習施設にて実施 OATME19と同一。 CNS実習科目
01EA147	家族看護学統合実習	3	2.0	2	通年	応談		涌水 理恵, 小澤 典子	看護科学特別実習および家族看護学実習Iで習得した援助方法を活用して、健康障害を抱えている家族員と家族に対して健康障害査定や家族査定能力および看護介入能力を教授する。	実習施設にて実施 OATME21と同一。 CNS実習科目
01EA113	がん看護学特論I	1	2.0	1	春BC	月5,6	共同B204	水野 道代, 山下 美智代, 牟田 理恵子	がん患者の保健行動を理解するために必要な看護理論・基本概念をテーマとして討論を行い、専門的ながん看護を行っていく上で基盤となる主要理論ならびにその活用について教授する。	OATMF11と同一。 eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA153	がん看護学演習I	2	2.0	1	秋AB	木1,2	共同B204	水野 道代, 山下 美智代, 牟田 理恵子	がん患者や家族によくみられる問題をアセスメントし援助する方法を教授するために、専門的ながん看護を実践する上で基盤となる主要理論を用いた援助プログラムを題材に、その主要理論を活用しながら、がんがもたらすあらゆる苦痛症状及び苦痛を包括的に理解し、エビデンスに基づいてキュアとケアを統合して適切に提供する方法について教授する。	OATMF12と同一。 eラーニング科目 CNS専攻分野専門科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA114	がん看護学特論II	1	2.0	1	秋AB	金5,6	共同B204	水野 道代, 山下 美智代, 牟田 理恵子	がん看護において重要な、治療の選択、診断・治療、病名・予後告知、種々の症状に伴う諸問題を的確にアセスメントし、包括的な支援を提供できるための看護援助の方法を教授する。	OATMF13と同一。 eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA116	がん看護学演習II	2	2.0	1	秋C	金1-4	共同B204	山下 美智代, 牟田 理恵子, 水野 道代	がんによる苦痛症状および苦悩を抱える患者・家族を包括的にアセスメントし、その苦痛症状および苦悩を緩和するために理学療法的介入や心理的支援などの看護実践指針を作成する。作成をした看護実践指針とその評価は発表を行い、医療スタッフやがん看護の専門家を交えた討議をとおして、科学的、実証的、論理的妥当性のある看護実践指針を作成する方法について教授する。	OATMF14と同一。 CNS専攻分野専門科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA154	がん看護学特論III	1	2.0	1	秋B 秋C	金3,4 金5,6		水野 道代, 山下 美智代, 牟田 理恵子, 小澤 典子	薬物療法や代替・相補療法などを用いて創意工夫をこらしながら、がんがもたらすさまざまな苦痛症状および苦悩を緩和するために必要な能力を習得させるために、専門看護師の役割と機能を踏まえた事例の討議を活用しながら心理、社会、蓋的な援助に対する知識と・技能について教授する。	OATMF15と同一。 CNS専攻分野専門科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA111	基礎腫瘍学特論	1	1.0	1	春AB	月3,4	共同B204	水野 道代, 山下 美智代, 牟田 理恵子	病態生理学全般の中から、特に、腫瘍の発生・進展プロセス、がんの診断や病期決定・経過観察のために必要な種々の検査方法に関して、がん看護に関連した専門的知識を教授する。	OATMF16と同一。 eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA112	臨床腫瘍学特論	1	1.0	1	春A	火5,6	共同B204	山下 美智代, 牟田 理恵子, 水野 道代	病態生理学全般の中から、特に、代表的な治療法および代表的疾患(腫瘍)の標準治療および症状管理に関して、がん看護に関連した専門的知識を教授する。	OATMF17と同一。 eラーニング科目 CNS専攻分野共通科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA155	緩和ケア特論	1	2.0	1	秋AB	水1,2	共同B205	牟田 理恵子, 山下 美智代, 水野 道代	がん患者に頻繁に見られる苦痛症状をマネジメントする上で必要な医学的知識を教授し、それらの苦痛症状が患者の身体面、心理面、社会面に及ぼす影響を理解するとともに、症状マネジメントに必要な看護援助を探索するために討議を行う。さらに、ケース発表を通しががんがもたらすあらゆる苦痛症状および苦悩を包括的に理解したうえで、エビデンスに基づいてキュアとケアを統合し、適切に援助を提供する方法を考察し、実践能力を養う。	OATMF18と同一。 eラーニング科目 CNS専攻分野専門科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目

01EA117	がん看護学実習I	3	2.0	1	秋BC	応談		山下 美智代, 牟田 理恵子, 水野 道代	専門的能力を有する看護師および大学教員の指導のもと、がんの診断・治療に関わる臨床場面(診療や症例・退院調整カンファレンス等)を通して、がん患者の療養管理をするために必要な能力を習得できるよう指導する。	OATMF19と同一。 CNS実習科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA156	がん看護学実習II	3	4.0	2	春AB	応談		牟田 理恵子, 山下 美智代, 水野 道代	複雑で対応困難な問題をもつがん患者やその家族への看護を通して、高度ながんの専門的知識・技術・判断能力を用いた質の高い看護援助法の開発、倫理的判断能力を習得できるよう指導する。	OATMF21と同一。 CNS実習科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA157	がん看護学実習III	3	2.0	2	春AB	応談		牟田 理恵子, 山下 美智代, 水野 道代	がん看護専門看護師の役割(相談・調整・教育・倫理調整)を実践の場で遂行できる能力を習得できるよう指導する。	OATMF22と同一。 CNS実習科目 関東がん専門医療人養成プログラム開講科目
01EA119	精神保健看護学特論	1	2.0	1・2	春BC	月3, 4	共同B204	菅谷 智一, 山海 知子	専門性の高い精神看護を行う上で必要な精神保健医療福祉に関する制度と体制、精神的な問題を抱えた人の精神・身体状態の評価に必要な理論と方法、精神力動理論に基づいたアセスメントについて、心身相互作用の面、精神科診断学の側面、精神科臨床検査から理解できるよう講義及びプレゼンテーション、討議を通して学習を深める。	OATMG11と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA120	精神保健看護学演習	2	2.0	1	秋BC	応談		菅谷 智一, 山海 知子	精神的な問題を抱えた人とその家族に対して、専門性の高い精神看護を展開する上で必要な精神領域の治療に関する理論と方法、看護介入の理論と方法について、講義と演習、討議、またプレゼンテーションを通して学習を深める。 また、精神科治療の技法を理解し、セルフケア理論や対人関係理論に基づく看護介入方法、ケースマネジメント及び精神科チーム医療について学習する。	共同B112にて授業 OATMG12と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA121	精神看護学特論I	1	2.0	1	春BC	応談		山海 知子, 菅谷 智一	精神看護の専門看護師として、ケアとキュアを融合した高度な実践に必要な精神保健医療福祉の制度と体制に関する知識、精神的な問題を抱えた人とその家族の理解および精神・身体状態の評価に必要な基礎的理論と方法について、講義及び学生自身のプレゼンテーション、研究論文のクリティック、討議を通して学習する。 特に精神・身体状態のアセスメントにあたってセルフケア理論や精神機能の発達、心理社会的成長発達の特徴をふまえた討議を通して学習を深める。	共同B112にて授業 OATMG13と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA122	精神看護学特論II	1	2.0	1	秋AB	応談		山海 知子, 菅谷 智一	精神看護の専門看護師として、ケアとキュアを融合した高度な実践に必要な精神科薬物療法と精神療法に関する概念と各論について、講義および事例や最新の研究に関する学生自身のプレゼンテーション、討議を通して学習する。 特に慢性期にある精神疾患をもつ患者の理解を深め、対象者が受けている薬物療法、精神療法、認知行動療法、自律訓練法などの治療法を理解し、対象者への指導方法について討議を通して学習を深める。	共同B112にて授業 OATMG14と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA148	精神看護学特論III	1	2.0	1	秋C	応談		山海 知子, 菅谷 智一	精神看護の専門看護師として、慢性期精神疾患患者へのケアとキュアを融合した高度な看護実践を展開するために必要な理論と方法について、講義および事例展開、最新の研究に関する学生自身のプレゼンテーション、討議を通して学習する。 特に慢性期精神疾患である統合失調症、アディクション傾向のある患者、遅延性うつ病患者の特徴を理解し、精神機能の評価及び生活状態のアセスメント方法について討議を通して深く学習する。	共同B112にて授業 OATMG15と同一。 CNS専攻分野専門科目
01EA123	精神看護学演習I	2	2.0	1	秋AB	応談		山海 知子, 菅谷 智一	精神看護の専門看護師によるケアとキュアを融合した高度な看護介入が必要な患者やその家族に対するアセスメントと具体的な看護介入方法について事例展開をすることによって学習する。特に急性期、回復期、慢性期の違いについて理解し、それぞれの時期に必要な看護介入方法について討議し、活用方法を演習する。また精神療法の技法である認知行動療法やSST・心理教育などを体験することによって理解を深める。	共同B112にて授業 OATMG16と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA124	精神看護学演習II	2	2.0	1	秋C	応談		山海 知子, 菅谷 智一	精神看護の専門看護師に必要な機能と役割である、高度実践、コンサルテーション、倫理調整、コーディネーション、教育、研究活動について、事例の分析とエビデンスに基づく援助計画の立案、討議を通して学習する。特に倫理調整では処遇困難事例や重度の慢性疾患患者や家族の葛藤について事例を分析することによって理解を深める。またケースマネジメントや精神科医療チームにおける専門看護師の役割について討議を通して理解を深める。	共同B112にて授業 OATMG17と同一。 CNS専攻分野共通科目

01EA125	精神看護学実習I	3	4.0	1	秋BC	応談		山海 知子,菅谷 智一	ケアとキュアを融合した高度な精神看護実践に必要な精神看護に関連する理論・技法に基づき、また精神看護学実習Iで立案したケアプランに沿って、専門性の高い看護ケアを実施し、科学的視点から評価を行う。精神看護専門看護師としてケアとキュアを融合した高度な看護実践能力を習得する。 学生は2名以上の患者を受け持ち、診療場面や治療について理解を深め、医療チームメンバーと連携を踏ると共に、実践内容について文献を活用したり、専門看護師との討議を通して評価を行う。	OATMG18と同一。 CNS実習科目
01EA149	精神看護学実習II	3	4.0	2	春ABC	応談		山海 知子,菅谷 智一	精神看護学実習I、看護科学特別実習(CNS役割実習)を基礎とし、精神看護学実習II、精神看護学特論IIIで立案したケアプランに沿って、慢性期精神疾患患者に対してケアとキュアを融合した高度な看護ケアを実施し、科学的視点から評価する。慢性期精神疾患患者のQOLの向上をめざしたケアとキュアを融合した高度な看護実践能力、さらに援助成果について科学的に評価できる能力を習得する。 特に倫理調整や精神科保健医療福祉チームでの調整が必要な患者を2名以上受け持ち、看護実践を行い、文献を活用したり専門看護師との討議を通して評価を行う。	OATMG19と同一。 CNS実習科目
01EA201	地域健康・公衆衛生看護学特論	1	2.0	1・2	春AB	水5,6	共同B206	大宮 朋子,山海 知子,我妻 ゆき子,田宮 菜奈子,出口 奈緒子	地域で生活する人々への健康支援活動に必要な看護理論、基本概念、看護技術について、公衆衛生看護学や保健医療に関する最新の研究成果を題材として学習し、生活の質の向上を目指した地域の健康システム看護について教授する。	
01EA202	地域健康・公衆衛生看護学演習	2	2.0	1	秋AB	月2,3	共同B206	大宮 朋子,山海 知子,出口 奈緒子	地域で生活する人びとの健康課題とそれに対応する地域での具体的な看護活動に関する課題と動向を把握するために、臨地の場での実践および国内外の文献を講読し、人々の健康を維持増進するためのよりよい実践方法や研究への適用の可能性について科学的根拠とともに探求させる。	
01EA229	国際発達ケア特論	1	2.0	1	春AB	応談		安梅 勲江	国際的な視点から地域で生活する人々への健康支援活動に必要な看護理論、基本概念、看護技術について、公衆衛生看護学や保健医療に関する最新の研究成果を題材として学習し、生活の質の向上を目指した国際地域ケアについて教授する。	共同B103にて授業
01EA230	国際発達ケア演習	2	2.0	1	秋AB	水2,3	共同B206	安梅 勲江	国際的な実践や地域看護理論やモデルを踏まえ、国内外の文献を講読し、住民(高齢者・障がい者・子ども)のヘルスプロモーションとエンパワメントの視点からより良い地域ケアの実践方法やシステム構築に関する研究への適応の可能性について科学的根拠とともに探求させる。	
01EA233	国際看護学特論	1	2.0	1・2	春BC	月5,6	共同B206	竹熊カツマタ 麻子,杉本 敬子,Togoobaatar Ganchimeg,福澤利江子	グローバルヘルスという大きな枠組みの中で看護を実践するには、実践を行う場における対象、社会、文化、政治、経済、教育、宗教など様々な要素について理解しなければならない。本特論で World Health Organization (WHO) のグローバルヘルスプログラムのモデルである Primary Health Care (PHC) をはじめ国際看護の実践に不可欠な理論や実践モデルについて学び看護がグローバルヘルスに貢献するための示唆を得る。	
01EA234	国際看護学演習	2	2.0	1	秋AB	月5,6		竹熊カツマタ 麻子,杉本 敬子,Togoobaatar Ganchimeg,福澤利江子	本演習においてはグローバルヘルスにおける看護実践という視点から、文献や実際の国際医療・看護のプログラムからのケーススタディを軸にしなごら、ニードアセスメント、プログラムモデル、プログラムの開発ならびにプログラムの導入と実施から評価について検証を行う。	共同B103にて授業
01EA235	療養調整看護学特論	1	2.0	1・2	春AB	月3,4	共同B206	日高 紀久江,浅野 美礼,柴山 大賀,阿部 吉樹,萩野谷 浩美	健康上の問題を有する成人・高齢者の看護に必要な理論や基本概念、看護技術を学習する。対象と家族に関する包括的なアセスメント、療養生活の環境調整、自己管理教育・指導、生活の再構築について、科学的根拠に基づいた知識や技術を教授する。	
01EA232	療養調整看護学演習	2	2.0	1・2	秋AB	月3,4	共同B205	日高 紀久江,浅野 美礼,柴山 大賀,阿部 吉樹,萩野谷 浩美	療養調整看護学特論で学んだ知識や技術を背景に、療養生活の調整手法について国内外の文献を講読し、療養生活を調整するためのよりよい実践方法や研究への適用可能性について科学的根拠とともに探求する。	
01EA216	慢性看護学I特論	1	2.0	1	春BC	水5,6	共同B204	柴山 大賀,日高 紀久江,浅野 美礼,阿部 吉樹,萩野谷 浩美	講義と討議により、慢性、病者や家族が抱える慢性病特有の複雑で解決困難な問題とその背景および、そのような状況におかれる人々の行動理解に役立つ諸理論を教授する。	OATMH11と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA217	慢性看護学II特論・演習	1	2.0	2	春A	火3-6	共同B206	柴山 大賀,日高 紀久江,阿部 吉樹	慢性病者の複雑な状態の身体・心理社会面を含めた包括的アセスメントについて学ぶ。	CNS専攻分野共通科目

01EA218	慢性看護学III特論	1	2.0	1	秋AB	木3,4	共同B204	日高 紀久江, 柴山 大賀	慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術の理論と方法について理解することを目的としており講義形式で実施する。慢性病の発症予防、発病期、慢性安定期、急性増悪期、進行期、終末期、各病期の経過の特徴の理解(計6回)と、慢性病の各病気に対応する支援技術として、慢性疾患の予防、診断・治療、患者の自己管理支援や患者教育、リハビリテーション、症状マネジメント、ターミナルケアについて学習を深め、また慢性病の治療やケアには自己決定を要することが多いため患者の権利擁護や自己決定支援についての理解を深める(計14回)。	OATMH13と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA219	慢性看護学III演習	2	2.0	1	秋AB	木5,6	共同B204	日高 紀久江, 柴山 大賀, 阿部 吉樹	ロールプレイや演技演習を通して慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術を学習し、高度看護実践の場で応用可能な支援技術を習得することを目標とする。授業は演習形式で行い、慢性病の発症予防のための健康教育、診断ならびに治療に伴う専門的な看護支援、患者の自己管理支援、症状の維持向上を目的としたリハビリテーション、長期的な視点で考える症状マネジメントや患者教育、ターミナルケア、そして患者と家族を対象とした権利擁護や自己決定支援などの倫理調整について、計10項目の支援技術についてその実際を学ぶ。	OATMH14と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA225	慢性看護学IV特論	1	2.0	1	秋AB	水2,3	共同B204	日高 紀久江, 安梅 勲江, 浅野 美礼	慢性病者に適用される医療・福祉の制度や体制、および質の高い生活に向けた地域社会支援の革新方策とその評価方法について学習することが目的であり、講義形式で実施する。	OATMH15と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA226	慢性看護学V特論	1	2.0	1	春BC	木1,2	共同B204	柴山 大賀, 山海 知子, 日高 紀久江, 浅野 美礼, 阿部 吉樹, 萩野谷 浩美	講義と討議により、慢性病者の治療環境を質の高い生活に向けて調整する方策とその評価方法の理論と実際について教授する。	OATMH16と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA227	慢性看護学V演習	2	2.0	2	秋BC	金3,4	共同B107	柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	演習形式で、病棟、外来、地域、居宅、職場のそれぞれの臨床現場を見学し、関連する文献の検討結果をふまえて、教員、慢性看護の専門家、学生同士で討議を行うことをとおして、慢性病者の治療環境や地域社会での療養生活の質を高めるために必要な調整の方策の実際について考察を深める。授業計画としては、5つの場のそれぞれについて、現地の見学とその後の文献検討と討議で2回分とし、合わせて10回で構成する。	OATMH17と同一。 CNS専攻分野共通科目
01EA220	慢性看護学実習I	3	4.0	2	通年	応談		日高 紀久江, 柴山 大賀, 阿部 吉樹	医療機関において慢性病の医療、看護の実践経験をもつ看護師、医師、大学教員の指導のもと、地域社会で療養生活を営む慢性病者を対象に実習を行う。 実習内容として、基本的な医学的評価・判断に基づく薬療法や医療処置の管理についての理解を深め、治療環境や地域社会での療養生活の質を高めるために必要な調整の方策の実際について学習することを目的としている。	OATMH18と同一。 CNS実習科目
01EA228	慢性看護学実習II	3	4.0	2	通年	応談		柴山 大賀, 日高 紀久江, 阿部 吉樹	専門的能力を有する看護師および大学教員の指導のもと、多様な治療環境(病棟・外来・地域)において支援対象者を設定し、入院から退院後の期間にわたる支援を継続することにより、慢性疾患看護専門看護師の役割機能を各自の専門領域に関して実践する。授業計画としては、病棟、外来における慢性疾患医療が実施され、地域との連携が充実している医療施設において、高い専門性を持つ看護師の指導のもと実習を行う。発病期または急性増悪により入院した慢性疾患患者を受け持ち、包括的なアセスメントに基づいて、専門看護師の役割を発揮するための支援計画を立案し、実施、評価する。実習での実践内容については、実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究のそれぞれの視点から実習報告書を作成する。	OATMH19と同一。 CNS実習科目

専門科目(共通)(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EA401	インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談	柴山 大賀, 水野道代, 山下 美智代, 福澤 利江子, Togoobaatar Ganchimeg, 岡山久代, 大宮 朋子, 竹熊カツマタ 麻子, 金澤 悠喜, 出口 奈緒子, 牟田理恵子, 菅谷 智一, 安梅 勅江, 山海 知子, 日高 紀久江, 浅野 美礼, 川野 亜津子, 涌水 理恵, 小澤 典子, 阿部 吉樹, 萩野谷 浩美	看護実践経験を持たない学生が、看護を科学的に捉える実践経験を得るための実習である。学生は病院、学校、保健所・保健センター、訪問看護ステーションなどで自らの課題に応じた計画を主体的に実践、評価し、看護科学特別研究に繋がるように探求する。授業計画としては、学生自らが設定した課題について実習計画を立案し、実習施設の調整を主体的に行い、実習計画に基づいた実践と評価をしたのち、その成果を報告書としてまとめる。	選択必修 OATMY11と同一。日本で看護師としての臨床経験が3年未満の者(助産課程除く)
01EA402	看護科学特別実習	3	2.0	1・2	通年	応談	柴山 大賀, 水野道代, 山下 美智代, 福澤 利江子, Togoobaatar Ganchimeg, 岡山久代, 大宮 朋子, 竹熊カツマタ 麻子, 金澤 悠喜, 出口 奈緒子, 牟田理恵子, 菅谷 智一, 安梅 勅江, 山海 知子, 日高 紀久江, 浅野 美礼, 川野 亜津子, 涌水 理恵, 小澤 典子, 阿部 吉樹, 萩野谷 浩美	看護学における高度専門職業人になるための自分自身の課題を明確にし、自己成長するために、看護職としての自分自身の現状をアセスメントし、個人の現状に合致した場において課題を設定し研究的視点を持ちながら実践する実習である。さらにそこで得られた知見を、臨地における実証的研究として特別研究につなげられるように探求する。授業計画としては、学生自らが設定した課題について実習計画を立案し、実習施設の調整を主体的に行い、実習計画に基づいた実践と評価をしたのち、その成果を報告書としてまとめる。	選択必修 CNS実習科目 OATMY12と同一。関東がん専門医療人養成プログラム開講科目助産師課程専攻学生必修 助産課程専攻学生および日本で看護師としての臨床経験が3年以上の者
01EA403	看護科学特別研究	7	4.0	2	通年	応談	看護科学専攻教務委員長, 研究指導教員	それぞれの専門研究領域で修士論文または特定の課題についての研究の成果の作成に向けた指導を行う。	必修

自由科目(看護科学専攻前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EA501	国際看護研究演習		4	1.0	1・2	通年	応談		国際学術集会で研究発表を行うとともに、学術集会への参加を通して国際水準の看護研究を学ぶ。	修了要件に含まれる選択科目の単位としては認められない
01EA502	国際看護実践演習		4	1.0	1・2	通年	応談		海外の看護に関連する機関での5日間以上の海外研修等に参加し、グローバルな視点で看護の実践と課題について学ぶ。	修了要件に含まれる選択科目の単位としては認められない